

「地域の子どもの居場所」を増やすための支援活動の推進に関する請願

1 趣 旨

心や環境面に深刻な問題を抱えている子どもたちの中には、周囲の大人に相談できず、孤立感を強めている子が少なくない。子どもたちの状況を理解し、温かく寄り添う大人の存在は、学校や家庭だけでなく地域にも求められている。

現在、子どもたちが抱える問題を早期発見できる場として「地域の子どもの居場所」が注目されている。福井県内で運営されている居場所には、主に学習支援の場と子ども食堂があるが、2019年度は88箇所、2020年度は101箇所、2021年度は102箇所と、その数は年々増え続けている。

その一つである越前市の子ども食堂では、学習支援も行っており、地域のボランティアの支援の下、どの子ものびのびと楽しそうに過ごしている。そこでは、活動中の子どもたちの様子をさりげなく見守り、相談にのったり、必要があれば様々な機関等につなげたりしている。

見守りや気づきを目的とした地域の居場所が増えることで、より多くの悩みを抱えた子どもたちの存在に気づき、手を差し伸べることができる。そのような「地域の子どもの居場所」を増やすためには、居場所の立ち上げや運営に係わる助成制度・研修の充実、ボランティアを増やすための普及活動等の支援活動を進める必要がある。

そこで、下記のとおりで請願する。

記

地域の大人たちが子どもたちを見守り、その子どもたちの変化に気づくことができる「地域の子どもの居場所（子ども食堂や学習支援の場等）」を増やすための支援活動を推進すること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 矢田弘

3 紹 介 議 員

仲倉典克、西畑知佐代、西本恵一、細川かをり

4 受理年月日

令和4年11月18日